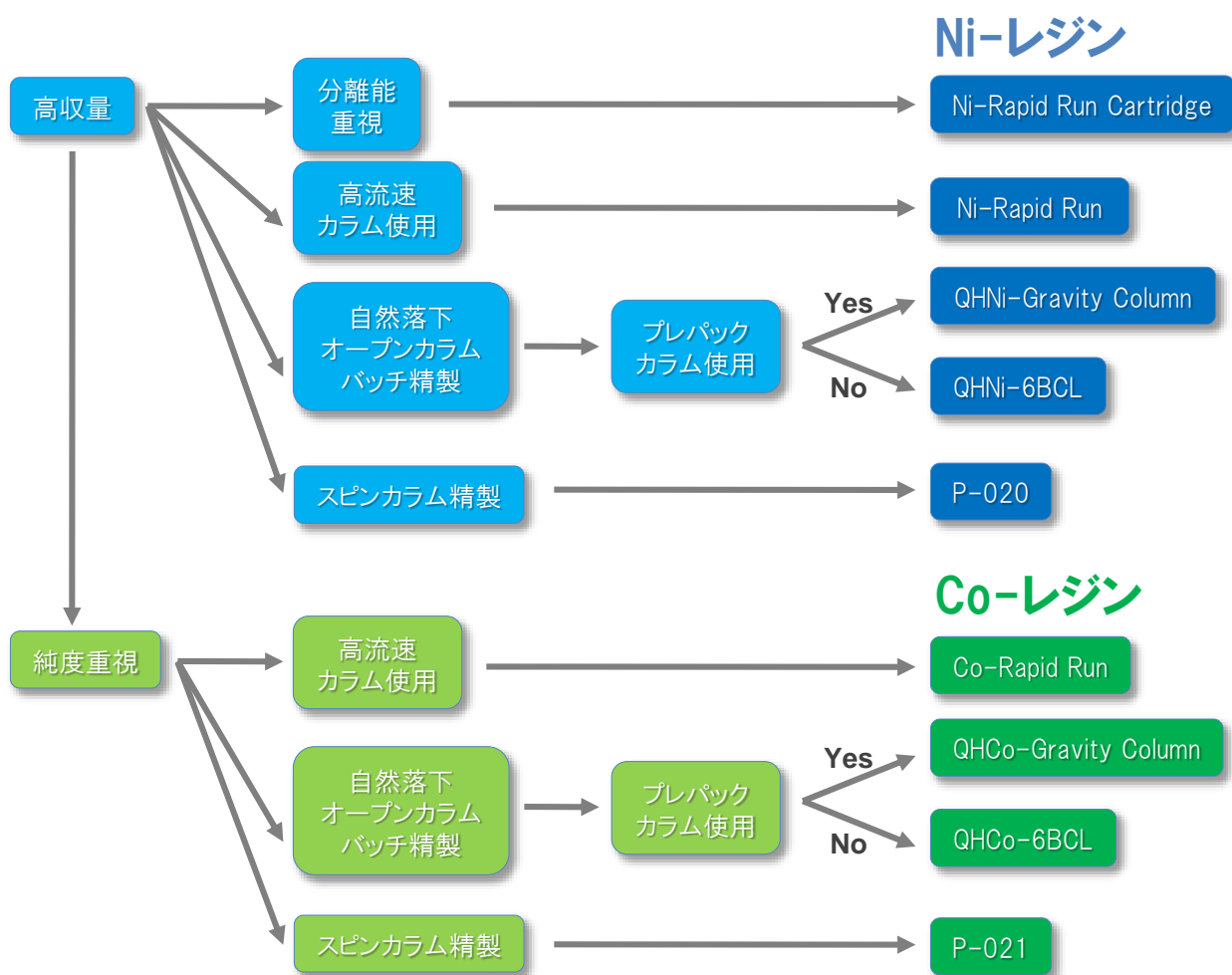


## His-tagタンパク質精製 金属キレート ゲル担体 選択ガイド

✓本資料は、多数の製品ラインナップから最適レジンを選択するためのガイドです。  
✓実際に小スケール精製をしながら選択したい場合には、本資料とあわせて、最適レジン検索用スクリーニングキットをご利用下さい。



- 非特異的結合によるコンタミネーションが多い場合は、低密度タイプをご使用ください。
- その他、Zn<sup>2+</sup>、Cu<sup>2+</sup> が選択できます。酵素の特性などにより、Ni<sup>2+</sup>やCo<sup>2+</sup>レジンの使用を避けたい場合などにご使用ください。

## His-tagタンパク質精製 金属キレート ゲル担体 選択ガイド

- ✓本資料は、多数の製品ラインナップから最適レジンを選択するためのガイドです。
- ✓実際に小スケール精製をしながら選択したい場合には、本資料とあわせて、最適レジン検索用スクリーニングキットをご利用下さい。



### 金属密度タイプを選択

最初を選ぶなら...

高密度タイプ

高密度タイプ: 高収量の精製用  
低密度タイプ: 高純度の精製用

- 非特異的結合によるコンタミネーションが多い場合は、低密度タイプをご使用ください。



### 金属種を選択

高密度タイプの場合:  $\text{Ni}^{2+}$ 、 $\text{Co}^{2+}$ 、 $\text{Zn}^{2+}$ 、金属フリー から選択

低密度タイプの場合:  $\text{Ni}^{2+}$ 、 $\text{Zn}^{2+}$ 、 $\text{Cu}^{2+}$ 、金属フリー から選択

高収量の精製には

$\text{Ni}^{2+}$  レジン



High Density Ni  
(6BCL-QHNi)

- $\text{Ni}^{2+}$ レジンがもっとも高収量が得られますが、非特異的結合がやや多くなります。

高純度の精製には

$\text{Co}^{2+}$ レジン



High Density Co  
(6BCL-QHCo)

- $\text{Ni}^{2+}$ レジンよりも非特異的結合が少なく、高収量が得られます。
- この他、 $\text{Zn}^{2+}$ 、 $\text{Cu}^{2+}$  が選択できます。酵素の特性などにより、 $\text{Ni}^{2+}$ や $\text{Co}^{2+}$ レジンの使用を避けたい場合などにご使用ください。